

青学ビジネスフォーラム 2009（第4回）開催のご案内

青山学院大学では、「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の一翼を担う形で「青学ビジネスフォーラム」を2004年に立ち上げ、地域の企業の方々との交流を促進し、産学連携ビジネスに結びつける努力をしております。

以下に2009年度第4回の講演会をご案内します。今回は「人体を利用する通信」をテーマにご講演をお願いしました。ご希望の方は連絡先までお知らせいただきますようお願いいたします。

★青学ビジネスフォーラム（第4回）

主 催： 青山学院大学総合研究所

協 力： 首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会、相模原市

開催日： 平成22年2月6日（土曜日） 14時から16時

場 所： 青山学院大学相模原キャンパス K棟2階(209号室)ミーティングルーム

会場案内図は青山学院大学ホームページをご覧ください。

お車でのご来場はお断りします。

定 員： 参加人数に制限はございませんが、事前に参加お申し込みいただけますと準備の都合上助かります。なお当日でも受け付けますのでお気軽にお越しください。

講演内容：

☆「人体通信技術とは」

講師：加藤 康男（慶應義塾大学SFC研究所 上席所員〔訪問〕、株式会社 カイザーテクノロジー 代表取締役）

私達が日常生活で自然に使う“手当て”という言葉があります。これは文字通り身体の不調な箇所（手（掌））を当てることによって痛みや不快な症状を緩和しようとする試みです。この“手当て”は洋の東西を問わずにおこなわれているようで、中世ヨーロッパでは国王が患部に手を触れる“手当て”によって国民の病気を治療する「ロイヤル・タッチ」として知られていました。時は流れて21世紀の現代、手を当てるという自然な動作によって情報を伝達する、中世の王侯貴族も仰天の通信技術が実用化されつつあります。

本講演では、人体を伝送線路として利用する新しい通信技術「人体通信」の技術開発の背景と基本的な原理、その応用について簡潔に解説します。

☆「人体通信とICカードソリューションについて」

講師：近田 恭之（大日本印刷株式会社 IPS事業本部 デジタルセキュリティ本部）

近年、各種カードは私達の生活において必需品となってきました。当初は厚紙やプラスチック製のカードに、情報を記録できる磁気テープを貼る簡単な構造の磁気カードが一般的でした。やがて、印刷技術を応用して集積回路チップが埋め込まれたことで扱える情報量が飛躍的に増加し大規模情報記録媒体としての IC カードが登場しました。その後、電磁誘導方式による近距離通信技術との融合で、IC カードは単なる記録媒体から“薄型通信端末”へと進化しました。尚も進化を続ける“薄型通信端末”としての IC カードは、遂に最先端の通信技術である“人体通信”をも取り入れ始めました。

本講演においては、大日本印刷が積極的に取り組む IC カードの人体通信ソリューションについて平易に解説します。

★ 青学ビジネスフォーラム講演内容は、南西フォーラムのサイトからリンクをたどりユーザ登録をすることで、インターネット画像でご覧になれます。

南西フォーラムのサイト <http://nansei.ssz.or.jp>

★ 参加申込み方法 （当日まで受け付けます）

電子メールないし FAX で以下の内容を事務局宛にお知らせください。

・氏名 ・企業名 ・住所 ・電話/ファックス番号 ・E-mail

★ 参加申込み先 （事務局）

宛先：青学ビジネスフォーラム事務局 水澤純一

住所：〒252-5258 相模原市中央区淵野辺 5-10-1 青山学院大学理工学部 O 棟 501 号室

TEL： 042-759-6318

FAX： 042-759-6495

E-mail： mizu@it.aoyama.ac.jp